

科目名	まちづくり論	英語科目名	Community Upgrading	
開講年度・学期	平成28年度・後期	対象学科・専攻・学年	専攻科・建築学コース・1 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学修単位(講義A)	
担当教員	尾立弘史	居室（もしくは所属）	建築棟1階ギャラリー内	
電話	内線 835	E-mail	oryu@小山高専ドメイン	
授業の到達目標		授業達成目標との対応		
		小山高専の教育方針	学習・教育到達目標 (JABEE)	JABEE 基準
まちづくりにおいてその地域で育まれてきた伝統的な生活のシステムを発見し、計画に反映させるのは有効な手法である。本年度は、日本の伝統的な居住空間の構成を表現するボキャブラリーを学び、日本の居住空間の構成原理とそのシステムを説明できる事を目的とし。				
①人が集まって住むために形作られた各種のシステムを学び、説明できる。		②	A	d-1
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
レポート、発表内容、質疑応答を総合的に評価し、60％で達成とする。 レポートには、自学自習課題の内容を含む				
評価方法				
毎回提出のレポート（60％）と発表質疑（40％）で評価する。				
授業内容		授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間
「集住の知恵」に記載された76テーマを分担して資料を収集し、読み解く。 1、授業の進め方ガイダンス (1w)				
2、立地を読み解く、環境に適応する 自然>人 19テーマ (3w)		左記キーワードの予習と事例収集		12
3、自然とすみあう、自然を活用する 人>自然 21テーマ (4w)		同上		16
4、集まって住む形、集住を仕掛ける 人・人 17テーマ (3w)		同上		12
5、集まって住む形、集住を仕掛ける 人・神 19テーマ (3w)		同上		12
6、まとめ (1w)		全体を総括しレポートする		8
自学自習時間合計				60
キーワード	伝統的生活空間 歴史 地域性			
教科書	「集住の知恵 美しく住むかたち」日本建築学会編 技報堂			
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目		現代建築論、建築計画Ⅲ		
現学年の関連科目		地域設計Ⅰ、地域設計Ⅱ、近代建築思想史、地域施設計画論		
次年度以降の関連科目		居住地計画論、文化財保存論		
連絡事項				
本年度は日本の伝統的生活空間のキーワードを学ぶなかから、まちづくりの手法を学ぶ				
シラバス作成年月日	平成28年2月5日			